

金剛寺 博 議員

「中小企業振興条例」の制定を求める

議員 「中小企業振興条例」は、各関係者との役割を明確にし、総合的な支援を図る上で必要であり、事業者、関連団体との意見も踏まえて、平成31年度中に条例を制定したいと考えています。

新保健福祉施設の早期建設を求める

議員 保健センターの現状を伺います。
健康づくり推進部長 築37年、玄関ロビーが中央にあり、健診時は玄関付近で混雑、待合場所も狭く、廊下、屋外まであふれてしまします。職員は31名で、事務室が手狭です。
議員 新保健福祉施設の建替えは、平成28年に基

新規就農者経営支援制度について

議員 前議会でも要望した市独自の新規就農者支援制度について、平成31年度予算の内容を伺います。

「介護難民」を出すな！（第12弾）

―解消どころか急増する特養待機―

議員 市内特養各施設への当方での聞き取り調査（2月実施）では、何と2200人の待機でした。そこでお尋ねします。直近での特養待機人数は。

福祉部長 前年4月1日現在の情報に基づき、県から市町村へ本年1月に調査依頼があり報告中ですが、暫定値で63人と把握しています。

議員 県の前年4月1日の元データからの数字です。で、現時点では、もっとも待機者が増えていると思われまます。先程の調査結果220人が、全て重複して申し込んでいるとしても、その半分110人となり、増加していることは明白です。6年後の「2025年問題」を控え、加速度的に増加します。現在の家族構成の在り様を考えれば、特養への希望者は確実に増加している待機者、その家族

杉野 五郎 議員

乗り合いタクシーの行き先拡充について

議員 乗り合いタクシー事業者への利用者は年々増加しています。限られた場所だけでなく、せめて市内の病院は何処でも行けるようにして欲しいと思えますが、いかがでしょうか。

市民生活部長 市民の皆様から様々なご要望をいただいています。目的を増やすことにより、

2022年の成人式について

議員 2023年1月に予定されている成人式は18歳、19歳、20歳の方々が一堂に成人式を迎えまます。課題がたくさん見えてきます。今から市民に周知が必要なのではないでしょうか。

教育部長 この時期は対象者の大半が高校3年生であること、成人式の開催時期を例年どおり1月とした場合、受験や就職を控えた重要な時期に重



▲乗り合いタクシーの行き先拡充を！

山宮 留美子 議員

掲載以外の質問項目

◆幼児教育・保育の無償化について

掲載以外の質問項目

◆防災行政無線のデジタル化について

ごみ減量について

久米原 孝子 議員

議員 当市のごみ減量の現状について伺います。
産業経済部長 一人当たりの排出量は年々微減という状況です。市民の皆様のご協力をいただきながら取り組んでいます。成果を上げることができない状況です。

議員 具体的な取り組みが必要になってきます。以前提案をしました燃やすごみ袋の中袋を作ってはいかがでしょうか。

産業経済部長 中袋について、市民の皆様のニーズや取り組んでいる自治体の事例を研究させていただき、中袋の製造は検討していきたいと思えます。

議員 燃やすごみ袋の中袋は市民の皆様から要望があります。ごみ減量にもつながると思えますのでよろしくお願いします。

食品ロスの取り組みについて伺います。家庭系は年々減少傾向にありま



▲食品ロス削減を！

すが、事業系は増加傾向にあります。食品ロスを削減することは、環境面や処分費を考へても有効な手段です。食品ロスから発生するごみを減らす今後の取り組みについて伺います。

産業経済部長 飲食店などに対する食品ロス削減に取り組んでいきたいと考えています。

議員 事業系の方への具体的な取り組みをお願いいたします。また、小さい頃から食べ物大切さを教えることは大切です。食育環境教育の取り組みもお願いします。

掲載以外の質問項目

- ◆子育て支援について
- ◆学習環境の整備について

親守詩（おやもりうた）について

深沢 幸子 議員

議員 言葉・心・親子を繋ぐ親守詩茨城県大会に参加してはいかがですか。
教育部長 親守詩の参加も含め、家庭教育の充実に向け効果的な取り組み方法を考へていきます。

議員 発達性協調運動障害は、認知度が低い。教職員が作業療法士等から知識、対応を学ばれては

発達障がい（発達性協調運動障害）について

消費税率引き上げ及び軽減税率について



▲「親守詩」…親と子の心を繋ぐ詩

いかがですか。
教育部長 必要に応じて当該研修を組み入れていきたいと思えます。

議員 消費税引き上げ時に、消費税増収分を活用した全世帯型社会保障は、子どもから高齢者まで必要に支援が行き渡り、誰も置き去りにしない社会保障です。その中で公明党が力強く推進した軽減税率、消費税引き上げ後の負担軽減策、プレミアム商品券の市の対応について伺います。

福祉部長 関係各課と実施に向けた協議を行っております。
議員 補助対象期間が今年9月30日までの、複数税率対応レジ補助金の周知徹底をお願いします。
産業経済部長 中小企業・小規模事業者等に有効な支援なので、積極的に周知します。

児童虐待防止について

札野 章俊 議員

議員 市として、児童虐待を防止し、未然に防ぐ体制は検討されていますか。
福祉部長 警察署、児童相談所、民生委員、児童委員、教育センターなどをメンバーとする、龍ヶ崎市子どもを守るネットワーク会議を組織し、その家庭の状況に応じた適切な支援に努めています。

議員 親たちを巻き込んだ虐待防止のキャンペーンや、子育てに関する教育が必要ではないですか。
福祉部長 児童虐待に関する認識を、より多くの方々に知っていただくための啓発や、家庭児童相談室や子育て世代包括支援センターなどの相談窓口を周知していく考えです。緊急通報先189（いちばやく）を周知し、児童虐待防止問題に対する深い関心と理解を得られるよう努めます。

議員 きめ細かい虐待防止の取り組みのため、現場の声を聞き、市独自の条例をつくる必要があるのではないですか。
福祉部長 茨城県子どもを虐待から守る条例が、4月から施行されます。まずは、この条例の基本理念を踏まえ、関係機関と連携を強化し、児童虐待防止について取り組んでいく考えです。
議員 親たちを巻き込んだ虐待防止のキャンペーンや、子育てに関する教育が必要ではないですか。
福祉部長 児童虐待に関する認識を、より多くの方々に知っていただくための啓発や、家庭児童相談室や子育て世代包括支援センターなどの相談窓口を周知していく考えです。緊急通報先189（いちばやく）を周知し、児童虐待防止問題に対する深い関心と理解を得られるよう努めます。

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

大竹 昇 議員

新しい農業について

議員 新しい農業への挑戦として、水稲・畑作面積、荒廃農地面積、山林・竹林の面積を伺います。

産業経済部長 平成30年4月現在、田が2414ha、畑が961ha、荒廃農地が133.6ha、山林・竹林が659haです。

議員 スマート農業のエネルギー利用技術の一つである竹林を活用している実例、及び国・県・市の支援策等を伺います。

産業経済部長 淡路市では、竹チップバイオマス温水ボイラーが、市内の福祉施設、園芸施設、工場、温浴施設に導入され、重油使用量の減少、二酸化炭素の削減に寄与し、支援制度として、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金等のほか、岐阜県や高知県では、木質バイオマス利用施設導入促進事業補助金や、木質資源利用促進事業

補助金など、独自の支援制度を設けている自治体もあります。

議員 放置山林・竹林の間伐採や竹チップの資源利活用のオランダ型スマート農業の誘致に関して、市の考え方を伺います。

副市長 NTTデータ経営研究所によると、日本の市場規模は2020年度300億円と予想されています。オランダ型のスマート農業からは、作業の効率化、低コストの技術、経営のノウハウ等を学び、当市の特性を踏まえたスマート農業を目指すことが肝要と考えます。

掲載以外の質問項目

◆サプラ周辺の商業地の活性化について

◆住居表示の変更と中心市街地の観光地としての活性化に向けて

後藤 光秀 議員

龍ヶ崎FMラジオ開局について

議員 コミュニティラジオは情報発信のみならず災害時にも強みがある。当市で開局する場合の効果、メリットや課題、条件整備を伺います。

市長公室長 地域密着型メディアの特性を生かし、即時伝達が必要な臨時情報やイベント情報等をリアルタイムで発信できること、市民や地元企業が放送や制作に参加できるコミュニティ活性化、災害時において難聴地域への手段として期待できる。課題は運営方法の問題、

開局や運営に必要な経費です。総務省調査では、放送局の4割が赤字、三百を超える放送局のうち二十数局が廃止に至っています。

議員 魅力も期待も十分認識していると伺えます。音楽協会や文化協会をはじめ当市には市民活動団体も多い。オープンスペースでいかに費用を抑えて市民サービスをやるか。スタジオ設備や機材など当然かかるものはありますが、例え4割が赤字だとしても6割は黒字だということに目を向けてほしい。

出し山、野原町の安全対策について

議員 野原町コスモスタンドから東側へ進んだ一つ目の交差点では、過去に大きな交通事故がありました。地元の声である、横断歩道設置の要望を再検討していただきたい。

確認したところ、信号機の異なる交差点と距離が近いめ横断歩道を新規に設置できないが、少し東側へ離れた位置であれば再検討できると伺いました。新たな設置場所をご検討の上、交通防犯課へご相談ください。

滝沢 健一 議員

小・中学校におけるトイレの洋式化について

トイレの洋式化について

議員 当市の学校もトイレの洋式化が進められています。聞くところによると、学校では和式トイレの方が使われているというところで、これはどういうことなんだろうと言います。洋式トイレは座ると冷たいから、和式トイレを使っていると、寒いということがあります。

家庭の洋式トイレは、ほとんどが暖房便座でウォシュレットがついていますので冷たく感じることはありませんが、学校のトイレにはこのような機能がありません。

要望にもなりますが、今後トイレの洋式化を進めていく際には、暖房便座機能が付いた洋式トイレにしてはいかがですか。

教育部長 ご指摘の暖房便座については、学校においては普及途上にあります。トイレは毎日使うものから、次はトイレの利便性を向上いただくよう要望いたします。

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

石引礼穂 議員

交通動線について

議員 「わくわく楽しい龍ヶ崎」をつくっていききたいという思いで、この4年間一般質問を行ってきました。今回は利便性という観点から、交通動線について質問をしていきます。

実施していただけるように茨城県へ要望をしているところでです。

議員 交通量調査のデータ等を活用して、今後の道路計画を立てて、それを市民の方々や、これから市民となられる可能性のある方々に発信して共有していき、龍ヶ崎の未来はこんな感じになりますよ！もつと住みやすくなりますよ！と思ってもらえるようにしていかなければいけないと思います。データがなくて、やみくもに道路計画を行うのは非常にまずいことだと思いますし、ニーズとのミスマッチを起こして無駄な投資を繰り返すことになってしまいかもしれません。どうすれば龍ヶ崎はもっと住みよくなるのか、交通動線の面からもぜひ考えていただきたいと思います。

都市整備部長 交通量調査につきましては、市独自の調査は行っていません。しかし、潮来街道と県道美浦栄線が交差する半田町の交差点については、地元からの要望を受け、県職員と市職員による状況確認を行っており、交差点改良を

掲載以外の質問項目
◆情報発信について

伊藤悦子 議員

「道の駅」護岸工事中止の責任と建設は中止を

議員 牛久沼の護岸工事は、軟弱地盤が見つかり、中止です。見抜けなかった設計業者の責任はいかが考えますか。

市長公室長 工事内容の大幅な変更が必要となり、市・県・設計業者と修正設計協議を進めています。現設計業者に責任をもって修正設計をさせています。

議員 開設時期はどうなりますか。また、かかる費用は設計業者の負担と考えますが、いかがですか。

市長公室長 2020年度中の開業が目標です。具体的な工事費用の算出には至っていません。

議員 現在でも約17億円かかります。さらに護岸工事の追加費用があれば、財政への影響が出ます。市民からも「道の駅」でなく、公園でもいいとの意見もあります。中止

を求めます。

市長 護岸工事に関しては、コンサルタント会社だけに責めを帰すだけでなく、発注者側として重く受け止め、反省しています。水防災の観点からも護岸工事は大切であり、費用負担が、大幅に膨らむことのないように、護岸を行い、「道の駅」整備を進めます。

議員 25メートル下までいかなないと、きちんとした岩盤がないといえます。中止すべきです。

掲載以外の質問項目
◆市民の命と健康を守る
◆国民健康保険について
◆よりよい保育行政について

◆コミュニティバス、乗り合いタクシーなどの移動手段の充実、料金の据え置きについて

岡部賢士 議員

都市計画の抜本的見直しを

議員 佐貫駅と龍ヶ崎市街地の間の県道周辺等の未開発エリアの開発行為の制限を解く線引き見直しについて見解を。

都市整備部長 建設的な提案だが、まずは既存市街地の都市機能充実、人口定着を図る事が重要と考える。

議員 佐貫駅近くにあれだけ未開発エリアがある当市は、まだまだ伸び代がある。人口減少を仕方ない事と諦めず、人口増加を目指そうという意気込みが欲しい！

市民参加のまちづくり

議員 市民の方から若者の考え、声が届きづらいという趣旨の意見をいただきたい。若者の市民参加について当市の認識は？

市民生活部長 市民アンケート調査結果では、若者世代の方が市民参加に対する意識は高い。

議員 アンケート回収率は

龍ヶ崎都市計画マスタープランは広域の視点に大きく欠ける。近隣自治体と連携した取り組みと、それに合わせた計画の見直しについての見解を。

都市整備部長 県や近隣自治体の都市計画等を踏まえ可能性を研究したい。

議員 コンパクトなまちづくりより先に、公共交通網の拡充が必要では？

市民生活部長 コミュニティバス大幅再編等、利便性向上に取り組み。

若者世代が極端に低い。これは関心の低さの表れでは。市政や地域への関心を高める事が大切。



▲若者が政策提案や意見を取り組める！

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

大野誠一郎 議員

牛久沼「感幸地構想」に疑問？

議員 100年先につながる「牛久沼感幸地構想」として、「観光地」から「感幸地」（幸せを感じる地）にしたい。「一日24時間、365日」、「平日、日曜、祝日」、市民の皆さんの憩いの場として、「牛久沼」を利活用したいと進めている。「感幸地構想」を読むと、「構想」の中核は、100年かけて「牛久沼の自然環境を創る」であるが、100年、200年かけてきた、今の自然環境を、今後100年かけて、どのように自然環境を創るのであるか。

市長 「自然を創る」という言葉そのものが、おこがましいというような印象を受けます。北山創造研究所の100年先を考えていこうという気概を、この「感幸地構想」から感じ取ってほしい。

議員 「気概の「感幸地構想」ですか。気概ですね。牛久沼の自然環境には最小限、手を加えないでいただきました。「構想」の中で欠落しているのが、「白鳥」の保護拡充、「コイ、ふな、ウナギ、わかさぎ」等の水産資源の保護拡充です。これは、どのように取り組むのですか。

産業経済部長 水産資源の保護を目的に稚魚の放流、今年度からは、ワカサギのふ化の放流を行っています。これからも支援を行っています。これから「白鳥」については、「道の駅」周辺に白鳥と触れ合えるスペースや、白鳥の子育てを見守れるような環境整備を検討していきたい。

議員 龍ヶ崎の名産、物産は少ない。牛久沼の水産資源を水産、物産にしてほしい。白鳥については、コブハクチョウの保護拡充は勿論のこと、シベリアからの「白鳥の飛来地」となる牛久沼にしてほしい。

後藤敦志 議員

児童虐待対応、市の組織体制強化を

議員 昨年度の当市の虐待認知件数は59件、単純に言えば、家庭児童相談員1人当たり30件の事案を抱えている計算です。多くの虐待事案に対して、現状の体制で人員は足りていますか。

福祉部長 児童虐待に対応するため、こども家庭課に家庭児童相談員2名を配置しており、業務は兼任ですが2名の担当職員と連携しながら相談業務等に当たっています。

児童虐待は新規事案だけでなく複数年の対応も必要です。

議員 人員不足によって、SOSを受けていたにも関わらず、救えるはずだった命を失ってしまうことは絶対にあってはいけません。人員を含めてしっかりと体制強化を図ってください。

福祉部長 補助制度については、福祉タクシーや移動支援などを提供している事業者、タクシー業者との公平性の観点から、補助制度導入については慎重な姿勢が必要と考えています。

議員 営利に至らない範囲の料金で行われている福祉有償運送事業。事業継続が運営経費的に困難であることが課題です。そこで、継続して円滑に運営できるように、運行事業者に対して新たな補助制度創設を検討してはいかがでしょうか。

椎塚俊裕 議員

早期に市民霊園の開園を！

議員 龍ヶ崎市霊園基本構想を作成して3年、昨年の質問から1年、市営霊園開設に向けた進捗状況を伺います。

産業経済部長 当市の霊園基本構想を策定しました平成28年3月以降、市営霊園の事業化を進めるために候補地となり得るような土地を所有する方などに、霊園事業についてご説明し、協力を求めています。

現在、市営霊園の具体的な候補地を選定できるよう、所管課において調査や折衝を行っているところです。

議員 今後に向けた展開方策と課題について、市長の見解を伺います。

市長 新しい市民霊園ができませんので、もうしばらくお待ちくださいと言えるようにしていきたいと思えます。

議員 その点は、議員の皆様のご理解、ご協力をいただきながら進めていきますので、よろしくお願いたします。

議員 継承者が故人を身近に感じられるようにしなければ、将来的にも無縁墓等の問題は永久に解決しないと思います。死んだ後も後継ぎや家族の有無などで差別せず、公平に扱われる合葬墓を行政の責任で確保するべきだと思います。お墓の姿、スタイルは今後大きく変化していくものだと思います。



▲四季を感じ、公園の目指すような市民霊園の開園を